

# 立命館大学数理科学科談話会

来る**10月25日（水）**に立命館大学数理科学科談話会が行われます。みなさまのご参加をお待ちいたしております。

日時：**2023年10月25日（水） 16:30～18:15**

開催方法：

- ・立命館大学BKCキャンパス ウエストウイング6階談話会室での対面形式
- ・Zoomミーティングによるオンライン配信

オンラインでの参加をご希望の方は、下記のURLよりご登録のほどお願い申し上げます。

<https://ritsumei-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tJYpc0CopjgrGdNecv7Ak4p9Rn0hdLTJfp1D>

講演者：

**亀岡健太郎 氏** (立命館大学)

タイトル：

**共鳴の数理解析**

アブストラクト：

共鳴は量子力学においてはハミルトニアン of 隠れた複素固有値であり、準安定状態が対応するとともに散乱現象にも影響を与える。非自己共役作用素のスペクトル解析などとも関わり数学的にも興味深い対象である。本講演では共鳴の基本的な考え方を紹介した後、共鳴の半古典極限や共鳴の複素吸収ポテンシャル法による特徴づけについての結果を紹介したい。

講演者：

**Shanola Smitha Sequeira 氏** (立命館大学)

タイトル：

## **Representation of compact operators between Banach spaces**

アブストラクト：

In this talk, we study a representation for compact operators acting between reflexive Banach spaces, which generalizes the representation given by Edmunds et al. for compact operators between reflexive Banach spaces with strictly convex duals. Further, we give a representation for operators on Banach spaces that are comparable to compact normal operators on Hilbert spaces and illustrate our result with an example.

The talk is based on joint work with Dr. G. Ramesh and Dr. M.Veena Sangeetha.

連絡先：高橋典寿

(立命館大学工学部数理科学科, e-mail: [ntakaha \[at\] fc.ritsumeai.ac.jp](mailto:ntakaha@fc.ritsumeai.ac.jp))